



ワケギはユリ科のネギの一種です。種子を作らず根元から分かれて繁殖する、分けつ型の植物です。

県内ではワケギは農家の自家用野菜として、畑の隅に細々と作られ代々自家採種（ワケギは種子をつくらないのでタネ球（鱗茎）で増殖され、多くは親類等からタネ球を分けてもらい自家増殖さで栽培されてきたため、系統はありますがほとんど品種名の不明な野菜です。

ワケギは低温に強く、暑さに弱いために夏は葉が枯れて鱗茎が休眠することが一般的です。葉ねぎとしてまた、お好み焼きや韓国料理にも多く使用され、重宝なネギです。

#### 1. タネ球（鱗茎）の準備

ワケギのタネ球の流通はほとんどありませんが、一部で大手種苗会社の通信販売があります。地域に伝わるタネ球が地元の種苗店に時期になると販売して場合があります。栽培1年目は購入し、生育中に形質のよい株を残しながら自家増殖を行い、2年目は自家タネ球で栽培します。

#### 2. 施肥

植え付け1週間前に堆肥（1㎡当り2kg）元肥に化成肥料（磷加安42号1㎡当り60g）を施し耕運します。追肥は植え付け後40～50日後に行います。

#### 3. 植え付け

|      |             |               |
|------|-------------|---------------|
| 年内取り | 8月下旬～9月上旬植え | 11月上旬～下旬収穫    |
| 冬越し  | 8月下旬～9月中旬植え | （翌春）4月上旬～5月下旬 |

畝幅45cmにベットを作り、株間を12～15cmに2球をつけて土中にまっすぐに差し込みます。深さはタネ球の先端がわずかに見える程度です。植え付け後は灌水して乾かさないようにすれば、10日ていどで萌芽します。草丈が伸びて倒れる状態になったら株元に土を寄せます。

#### 4. 病虫害防除

アブラムシ類、アザミウマ類の発生に注意し、早期発見、防除が重要です。

#### 5. 収穫

草丈が50cmぐらいになったら分けつの多い株から収穫します。

#### 6. タネ球の収穫・保存

タネ球用は9月ごろに植え付けたものが良く、それ以前に植え付けたものは分けつが多く充実したタネ球が取りにくい傾向があります。タネ球は5月ごろに鱗茎が肥大し茎葉が倒れる前に掘取り、畑で1～2日干し束ねて風とおしの良い軒下等に吊るしておきます。

#### 7. その他

タネ球は4月下旬～7月上旬間は休眠期間で6月下旬頃から休眠がさめ始める。しかしその後も高温で乾燥すると芽がでないことがあります。